

	旧日銀支店長宅跡地	だるま堂跡地
調査期間	平成 18 年 4 月 24 日～12 月末 (予定)	平成 18 年 8 月 10 日～9 月 19 日
調査面積	計画 1,200 m <sup>2</sup> うち現在 750 m <sup>2</sup>	65 m <sup>2</sup>
調査原因	松江市歴史資料館 (仮称)	都市計画道路城山北公園線拡幅工事
検出遺構と 出土遺物	<p>江戸時代初期、江戸時代中～後期、幕末以降の 3 つの遺構面を確認</p> <p><b>城下町造成以前</b></p> <p>現地盤 (標高 2.5m) から -1.7m (標高 0.8～1.0m) で確認</p> <p>城下町以前は湿地帯であったことを示すオモカスが含まれている</p> <p><b>I 期 (江戸初期)</b></p> <p>(遺構) 現地盤から -1.4m (標高 1.1 m) で遺構面を確認</p> <p>石列や木柱で囲った遺構など</p> <p>(遺物) 唐津系陶器、肥前系磁器、下駄、漆器など</p> <p><b>II～III 期 (江戸初中～後期)</b></p> <p>(遺構) 現地盤から -1.0m (標高 1.5～1.7m) で遺構面を確認</p> <p>石組遺構や石列、礎石列など</p> <p>(遺物) 陶磁器類、瓦、ミチア土器</p> <p><b>IV 期 (幕末以降)</b></p> <p>(遺構) 現地盤から -0.5m (標高 2m 弱) で遺構面を確認</p> <p>土壇、雨落溝など</p> <p>(遺物) 陶磁器類 (意東焼、塩谷焼、布志名焼) 土師質土器など</p>	<p>江戸時代のものと思われる石組水路を確認。石材の一つに刻印 (輪違い) あり</p> <p>その他は明治以降の攪乱が著しく、江戸時代の武家屋敷の遺構面は確認されなかった。</p> <p>城下町造成開始面に石列が確認されているが、性格不明。造成工事に関連する遺構である可能性あり。</p> <p><b>城下町造成以前</b></p> <p>現地盤 (標高 1.9m) から -1.0m (標高 0.9m) で確認</p> <p>城下町以前は湿地帯であったことを示すオモカスが含まれている</p> <p><b>城下町造成盛土層</b></p> <p>オモカス層の上に約 30～40cm の厚さで堆積している。遺物は含まない。</p> <p><b>江戸時代の攪乱土 or 城下町造成土層</b></p> <p>20～30cm の厚さの土層で、炭化物を含むことから攪乱土と考えたが、造成土層の可能性もある。遺物なし。</p> <p><b>明治以降の攪乱土層</b></p> <p>30～40cm の厚さで存在し、明治以降の遺物を多く含む。</p> <p>江戸時代の遺物は寛永通宝 2 点のみ</p>